

	学校だより おやまがおか ～全ては、子どもたちの笑顔のために！～	町田市立小山ヶ丘小学校 校長 大川 優 2025（令和7）年 6月30日 発行 第279号
〒194-0215 町田市小山ヶ丘五丁目 37 番 電話 042-770-6251 FAX 042-770-6258		

心身ともにたくましい児童の育成

副校長 向井 俊哉

本校は、令和7年、8年度町田市教育委員会の研究指定校として研究主題「心身ともにたくましい児童の育成」また、副主題を「楽しい・できた・分かったを実感できる、しかけのある体育学習を目指して」とし、6月18日（水）に第1回目として6年2組が「体づくり運動（体の動きを高める運動）」を行いました。（年間に4回の研究授業を実施していきます。）

私は小学校3年生から自ら志願し学校のサッカークラブに所属し、毎週火・木・土は放課後に練習。日曜日は試合を行い、サッカーのない月、水、金は友達と公園で野球やドッジボールをし、周りの活発な友達も同じような生活をしていました。当時はそんな日常が当たり前で、時には「雨が降ってサッカーの練習が中止にならないかな～」なんて思っていました。当時も運動に積極的にかかわる子どもとそうでない子どもはいたと思いますが、現在は、運動する場所、子どもの人数、習い事の多様化、温暖化による気候変動などが要因で、より習い事などで運動をする子と、しない子の二極化が進んでいるように感じます。（体力の低下傾向には歯止めが掛かっているものの、体力水準が高かった昭和60年ごろと比べ、依然として低い状況がみられるという指摘があります。）

小学校の学習指導要領（解説）の体育編には、基本的な考え方として「心と体を一体にとらえ、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成すること」を重視しています。現在の子は、一昔前に比べ、様々な運動に触れ合う機会が少なくなっているように感じます。学校体育の役割として、小学校段階で様々な運動領域、種目を経験させ、友だちとの交流を図り、体を動かすことの楽しさや、充実感、達成感を味わわせることはとても大切なことだと思います。また、友だちと競い合い、勝ったり負けたりすることで相手の気持ちを思いやる心なども育成することができます。

私が小学生時代には、体育の時間に「体づくり運動」というものではありませんでした。この運動領域が設定された経緯も、小学校段階で、誰もが体を動かすことの楽しさ、心地良さを味わわせると同時に友だちとかかわる楽しさ、良さを認め合うことを趣旨としています。小山ヶ丘小学校の児童にも、体育の授業を中心として、運動することの楽しさを体感させ、生涯にわたって自分の体や健康に興味を深め、自らすすんで豊かなスポーツライフを実現する素地を養えるよう、教職員一同励んでまいります。